

CONTENTS

特集1	普及啓発・就業開拓活動について	2
特集2	専任担当理事へのインタビュー	7
	7区通信	8
	就業先情報(西区)	15
	アンケート	16
	会議開催状況	17
	実績報告/事故発生状況	18
	歴史散歩(早良区)	19
	互助会だより	20
	会員のひろば	22
	重要なお知らせ/編集後記	裏表紙



志賀島 金印公園

天明4年、志賀の島村の百姓“甚兵衛”により掘り出されたとされる「金印」。偽物論や鋳つぶし論が横行する中、儒学者で福岡藩西学問所かんとうかん「甘棠館」の館長“亀井南冥”が発表した「金印弁」により金印は守られました。風光明媚な歴史の島「志賀島」を訪ねてみましょう。

絵：岡崎 幸雄(西出張所)

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

特集 1

福岡市シルバー人材センターが取り組む 普及啓発・就業開拓活動について

平成 24 年度事業計画において、普及啓発活動・就業開拓活動として、次のような取り組みを行うこととしています。

普及啓発活動

1 広報活動

- ・高齢者の入会促進や就業機会の確保を図るため行政機関や社会福祉協議会等の発行する冊子への広告掲載、センターが発行する機関誌やホームページを活用した広報。
- ・シルバーフェスティバルの開催や各種イベントへの参加による広報。
- ・商店街やショッピングモール周辺等におけるチラシ配布等の街頭キャンペーン。
- ・就業開拓員による広報活動。

2 社会参加活動

- ・海岸、河川敷や公園霊園等の清掃。
- ・老人保健施設への慰労訪問。



「普及啓発」活動について

専任担当理事 桑野 孝春

「就業開拓活動要綱」の規定の中の 1 つに「事業活動の宣伝」があります。つまりこれが「普及啓発」であり、私達就業開拓員の活動の 1 つだと思えます。

「普及啓発」とは福岡市に公益社団法人福岡市シルバー人材センターという団体がありますよと一般に知らせること、あることは知っているがはたしてどんな事をやっているのか、一般の人が気づかないような点について専門の観点より高い認識、理解を広く行き渡らせることと理解しております。つまり剪定・除草等は一般に知られているところですが、例えば子育て支援・家事・福祉サービス分野では、産前・産後のお手伝い、お子さんの見守り、家庭内の掃除・洗濯・食事の支度、高齢者の外出、通院の付き添い、話し相手等々、具体的に福岡市シルバー人材センターはこういう事をやっていますと知らせ、知ってもらうことだと思えます。

就業開拓員 7 名は、こういう事をやっていますよと訪問先毎に目的を持って「普及啓発」に活動しています。又就業開拓員は「普及啓発」の取り組みとして

- ① 一般家庭、企業、団体等へのチラシのポスティング
- ② 区役所、公民館、市民センターなど公共施設等の人が多く集まる場所への PR 紙の設置
- ③ 区役所（子育て支援課、地域保健福祉課等）、地域包括支援センター（いきいきセンター）等情報提供依頼先への訪問 PR

④ 自治協議会、民生委員、児童委員協議会、老人クラブ等々の会議への参加 PR
等々一人でも多く会員の皆様が就業につけることを最終目的として活動しています。

最後に会員の皆様へのお願いです。地域との共生 — 地域班長、会員様への協力依頼 — ポスティング等、近隣知人・友人等への PR 及び地域に於ける情報提供依頼 —、ご協力をよろしくお願いいたします。

毎年10月は、シルバー人材センター事業普及啓発促進月間として全国各地のシルバー人材センターで普及啓発活動が行われています。

当センターでは、各出張所による『街頭キャンペーン』の実施や県シ連主催の『シルバーフェスティバル』への参加により、普及啓発活動を行っています。

街頭キャンペーン



出張所では、各区内でパンフレットなどを配布してPR活動に励んでいます。

各区の街頭キャンペーンの目時・場所

東 区

日時: 10月13日(土) 8:30~9:00
場所: JR千早駅周辺、JR香椎駅周辺、JR箱崎駅周辺

博多 区

日時: 10月28日(日) 10:00~15:00
場所: 中比恵公園
『まつりはかた2012』会場内

中央 区

日時: 10月13日(土) 11:00~12:00
場所: 地下鉄唐人町駅駐輪場周辺、地下鉄六本松駅駐輪場周辺、西鉄平尾駅周辺、西鉄薬院駅ビル前周辺

南 区

日時: 10月18日(木) 10:00から
場所: 西鉄大橋駅周辺、西鉄高宮駅周辺

城南 区

日時: 10月13日(土) 10:30から
場所: サニー七隈店周辺、マルキョウ東油山店周辺、別府4・5丁目202号線沿い周辺

早良 区

日時: 10月18日(木) 19日(金) 22日(月) 23日(火) 10:00~11:00
場所: 西新地区4箇所、早良区役所周辺、地下鉄室見駅南側入口周辺

西 区

日時: 10月20日(土) 10:00~12:00
場所: 姪浜駅周辺、内浜ウエストコート周辺、イオン福岡伊都店周辺

今年もやります!

シルバーフェスティバル2012



『RKBラジオまつり』の会場内で、今年も「シルバーフェスティバル」を開催します。毎年、舞台では歌や踊りなどが催され、飲食コーナーや各地の特産物販売などさまざまなお店が出店しています。その中で、『シルバーフェスティバル2012』と題し、県下のセンターが集まってシルバー人材センターの普及のためのPR活動を行っています。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成24年

10/27(土) ▶ 28(日)

10時~16時

場所

RKB放送会館前広場

(住所: 福岡市早良区百道2-3-8)

実施内容

- ・パンフレット配布
- ・シルバーギャラリー(手づくり品の展示販売)
- ・シルバー農園の農作物(さつまいも)販売

※内容につきましては、予定でするので変更となる場合がございます。



シルバーフェスティバル2012会場

就業開拓活動

- 1 刈払・除草・剪定業務に関する講習会を開催し、就業会員を増やし受託拡大を図る。
- 2 女性会員の就業機会拡大のため、家事援助等に関する講習会を開催し、就業を希望する会員がスムーズに就業できる体制づくりを行う。
- 3 一般家庭からの受注を増加させるため、各出張所に就業開拓員を1名配置（計7名）し、需要の掘り起こしを行う。

就業開拓員の活動

各出張所の就業開拓員は、企業、事業所、公民館などの公共施設の訪問や民生委員の会合等に参加し、シルバーで引き受けることが可能な就業の開拓を行っています。

東

区

就業開拓員 石川 昌子

平成24年度普及啓発活動として、*東区役所・東市民センター・公民館・体育館・図書館・いきいきセンター・東市民プール・子供プラザ・東光園・社会福祉協議会・ファミリーサポート等へのパンフレット設置依頼及び定期的訪問。*病院・不動産会社への訪問及び就業案内。*JA福岡市東部の各支店及び施設を訪問し就業案内及びパンフレット設置依頼。*民生委員会議に参加しシルバーの説明と就業案内。*幼稚園・保育園への訪問及び就業案内。*東区どんたく広場でのパンフレットの配布。*各家庭へのポスティング。*各会議に参加の会員にパンフレットの配布依頼。等の普及啓発を行っています。厳しい現状の中、1人でも多くの会員が就業できます様に地域に根ざした活動を行っていきたく思っております。

博多

区

就業開拓員 池田 光雄

企業に関しては、現状は景気の冷え込みで、経費節約も相成り受注に厳しい状況です。一方、シルバー人材センターの目的の一つである子育て支援・家事援助サービスは、地域に密着した取り組みを行います。今後は、更にシルバーの啓発活動に邁進していく所存です。

中央

区

就業開拓員 大槲 秀毅

2010年事業仕分け第三弾（再仕分け）による大幅な補助金縮減、公共事業の将来的縮小が予想される事等、シルバー事業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。

一方では世界に類を見ない高齢化の進展があります。高齢者の就業の機会を紹介するシルバー事業の社会的存在価値は今後共、益々高まって行くと確信するものです。今年度、就業開拓の重点実施事項として取り組んでいる事は次の通りです。

- 1) 高齢化の進展から、家事・福祉サービス、子育て支援を今後の成長分野と捉え、民生・児童委員、老人クラブ及び社会福祉協議会組織への働き掛けを計画し実施しています。

2) 派遣事業の受注・拡大によって、契約額の減少に歯止めを掛け拡大を目指します。流通業界、特にスーパーマーケット、ホームセンターを当面のターゲットとしています。

3) 昨年の就業開拓先を継続訪問：幼稚園・保育園、介護施設他 35 事業所を訪問しています。

私達はより多くの人を仲間として受け入れて、元気で働く意欲がある高齢者に仕事を紹介し、就業して頂く事を使命と考えています。もとより就業開拓は専任である私達就業開拓員が携わるものですが、就業の機会は会員皆様の身近にも存在します。皆様一人一人がこの事を理解してくださり、ご協力頂ければ、この使命・目標達成に二歩も三歩も近づく事が出来ると確信しています。どうぞ宜しくお願い致します。

南

区

就業開拓員 西野 洋一

8月より就業開拓と互助会の担当に携わっていますが、就業開拓の業務については、前々から関心を持っており、是非関わりたいと願っていました。今回就任でき大変良い機会をいただき、前々からの念願である「就業希望者全員 100%就業」の目標に向け努力しています。法の様々な規制が有り必ずしも全員が希望する業務に就業出来るとは限りません。規制内での最大値を目指し出来るかぎりの努力とがんばりで公的機関、企業、団体、個人等に就業機会の依頼と確保を目指し、人々との出会いを大事にし、機会を活用してシルバーの知名度の向上を図り、事業に対する認識と理解の拡大を図ります。活動の指針として以下の具体的活動を掲げ日々努力、邁進して、目標達成に一步でも近づきたいと思っています。

- ① 自治協議会、民生児童協議会、老人クラブ等の会議へ積極的に参加し、シルバーのPRと各協議会にシルバーへの就業機会の紹介を依頼。
- ② 企業への積極的な訪問を実施して就業の機会及び情報を収集。
- ③ 一般家庭へのポスティング、公民館等公的機関へのパンフレットの掲示依頼。
- ④ 派遣事業推進の為に知識の獲得及び企業への積極的なアプローチを図る。
- ⑤ 会員と積極的な懇親を図り、会員一人一人が就業開拓に関心を持てるように根気よく啓発し、全員が就業開拓に関心を寄せる態勢を考えたい。(近所へのパンフの配付、仕事の依頼の勧誘等)

今後機会ある毎に、就業機会の拡大確保を図ると共に、会員一人一人に就業開拓に対する啓発を図り全員で就業拡大、確保、知名度向上等を図り目標を達成できるよう努力して行きたいと思っております。

城南

区

就業開拓員 金子 優

一人でも多くの方にシルバー人材センターを知って頂く、それは就業機会を拡大する事になります。区役所、公民館、いきいきセンター、民児協など多数…先輩の方々が築いてくれたアピールする場所は定期的に訪問を重ね継続していきます。今、私が特に力を入れているのが個人家庭の開拓です。一軒一軒訪問し手配りをしています。春から夏にかけては庭の草取りや剪定の仕事を戴く為に、それらをメインにしたチラシを作りパンフレットに挟みポストに入れます。チラシの内容は季節によって変えます。今は家事援助、子育て支援をメインにしています。ポストに入れる時も黙って入れるのではなく、「シルバー人材センターです、パンフを配って廻っています、ポストに入れていいですか?」と声をかける様にしています。城南区の各家庭まで届け終わるには少し時間がかかりますが、確実にメッセージが届く事がメリットです。困っている人の力になるというシルバーの理念の元、今後も地道に続けて行きます。又企業の開拓は長期間安定した仕事が望めることから派遣事業も活用し新規開拓を行います。

就業開拓員を拝命して1年が経過しました。就業開拓の定義には、1人でも多くの会員に、希望に応じた就業機会を提供するための活動とある。また、訪問活動がシルバー人材センターのPRと受注拡大に大きな成果とある。この2点と誠実な対応を心がけ活動することとしました。先輩方の活動状況（日報）・訪問先で交換された名刺で訪問企業先と役職名等を参考としました。訪問先での質問に答えられるようセンターが請け負える仕事の範囲条件等の確認を行いました。

この一年間、区役所の地域支援課・保健福祉課・子育て支援課等、公民館、学校、保育園、幼稚園・不動産業、商店街、病院、医院、老健センター関係施設、公共施設、司法書士事務所、一般企業を既存・新規に関わらずPR活動を行い、要望等を伺い受注拡大に努めました。

シルバー人材センターについては、①全く知らない②名前は聞いたことがある③剪定・草取り・駐輪（車）場の管理をしている所といった程度で、認知度は十分ではないと思う。今後、力を入れるべき家事援助・子育て支援についてはあまり知られていないのが現状で、内容をお話すると驚かれる。広くシルバーを周知するには、一人一人の掘り起こしも大切であるが、人が多く集まる所でPR活動するのが最善と考え、公民館で開催される老人会サークル、子育てサークル等、また地域事情に詳しい民生委員の集まり、民児協定例会に積極的に出席しリーフレットの他に自分で作成した「申込みがあった事例」等を配布し、具体的に説明PRし、お困り事はシルバーへ紹介していただくようお願いしている。面会が難しい医院には、院長宛手紙を持参しました。目につく広報物が得策として、ラミネート加工した「お困り事はないですか」・「集合住宅に入居の皆様方へ」・「介護施設の皆様へ」等作成して掲示板等への掲示お願いに取り組んでいます。既存発注者への継続受注拡大、リピーター確保と新規発注の開拓を目指し、就業率アップに努めています。

4月より就業開拓担当になり、半年が過ぎました。今、経済・雇用情勢の先行きが不透明な状況下で、センター事業においても、労働法規・警備業法・道路運送法などの関係法規の遵守による適正化により、事業運営面・財政面ともに大変厳しい環境下にあります。そのような中、「自主・自立、共働・共助」という基本理念の下、地域社会に貢献する事を目的とした公益法人が、永続的な組織の運営のために就業開拓など事業の伸展に向けた努力が必要と思います。就業開拓も主に、1. 宣伝媒体を通じて・2. 訪問活動で（就業開拓担当）・3. 就業を通じて（会員が就業先で）・4. 口コミで 等の方法が上げられます。

シルバー人材センターの存在が認識された今、さらに今後の課題として、

- 就業開拓担当の訪問活動量・内容の強化
- 就業を通じて信頼を根子に複数職種・継続受注の拡大

一人一人の会員に協力いただき、一人でも多くの方々に向けて、仕事の内容・依頼方法が織り込まれたパンフレットを使用しての情報提供（PR）が欠くことのできない活動であります。

皆様のご協力とご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

特集2 専任担当理事へのインタビュー (第1回)

5名の専任担当理事の日頃の活動について伺いました。3回に分けてご紹介いたします。

松尾慎治 専任担当理事 (安全担当)

1. 年間計画を教えてください。

安全・適正就業担当者会議を月1回開き、事故の発生原因を究明し事故等の防止に取り組んでいます。

7月は各出張所の「安全・適正就業促進大会」に出席し、8～9月にかけては安全パトロールを行い、駐輪場・公園除草・駐車場管理・剪定など作業状況を確認させて頂きました。今後も継続して安全パトロールを実施していきます。

2. 事故が起らないために、どうしていきたいですか？

事故防止には会員一人ひとりの意識の向上が何より大切であり、安全を守るのは自分自身であるということを実感して頂く為に、安全大会等を通じて意識向上に努めています。

また、健康診断の受診、自動車運転講習の受講を奨めています。

3. 適正就業に取り組んでいますが、今後どのようにしていくのですか？

4月より公益社団法人に移行しましたので、更に適正就業が重要課題となります。各出張所において適正就業に向け努力されており改善されていますが、十分に達成できていないのが現状です。会員・発注者の協力の上でジョブシェアリング・ワークシェアリングを推進していきます。

4. 今抱えている課題を教えてください。今後どのように取り組みますか？

賠償事故による高額な保険金が多発したため、来年度の保険料率が高くなることが予想されますので、より事故防止に努力しなければと思っています。

5. 会員にしてほしいことは？ (協力してほしいことは？)

傷害事故が多発しており、中でも転倒して骨折に繋がる事故が目立ちますので、作業前には軽い柔軟体操をして身体をほぐしましょう。安全大会・会員のつどい・地域懇談会等に積極的に参加して会員同士の絆を深め、楽しいシルバー人生を送って頂きたいと思っております。



樋口章子 専任担当理事 (家事援助担当)

1. 年間計画を教えてください。

会員のスキルアップのための講習会を行っています。

基礎研修会 (年6回)、献立勉強会 (年1回)、子育て講習会 (年4回)、掃除講習会 (年3回)、健康支援講習会 (年1回)

より多くの会員に参加してもらうためにも、内容をより充実していきたいと思っております。

2. 家事援助班の未来像は？

女性の観点から「地域のニーズに合ったやさしさと笑顔で暮らしのお手伝い」をモットーに、会員のスキルアップを図っていききたいと思っております。

3. 今まで足りなかったと思うことは何ですか？

担当者と会員とのコミュニケーションをもっと図れるような体制づくりをしていきたいです。

4. 改革をしたいことはありますか？

センターは紹介所ではないので、一人一人が個人単位で就業先を確保する、というような意識改革をしたいと思っております。

5. 今抱えている課題を教えてください。今後どのように取り組みますか？

女性会員の拡大だと思っております。いかに良い人材を確保するか、そして就業率アップです。就業会員はプロではないので、お客様への誠実さを持つことが重要だと考えています。

6. 会員にしてほしいことは？ (協力してほしいことは？)

講習会に積極的に参加し自信を持って、お客様に喜んでいただくように自分自身をスキルアップし、プライドを持って就業してほしいと思っております。また、事務所の担当者、班長、リーダー、会員が連携をさらに密接にするために積極的に情報交換を行い、各出張所で家事援助班を発展させて欲しいと思っております。



7区通信

東

区

ひがしく

第3回役員会開催



8月21日(火)13時30分より出張所会議室において地域班長、職群班長他38名と本部から大石監事、互助会から荒木代表幹事の出席で開催されました。石崎委員長から「公益法人化に伴う適正就業のすすめ、就業開拓の推進、出張所活動状況、シルバークフェスティバル開催および日帰り旅行の準備状況の報告がありました。

続いて広田副委員長から新地域班長3名の紹介、東出張所の事故発生状況報告がありました。また、地域懇談会および交通安全の集い、街頭キャンペーンの案内がありました。荒木代表幹事から互助会活動とこれからの行事予定について説明がありました。

最後に広田副委員長より次回の役員会は10月19日、東区花火大会の清掃ボランティアへの参加依頼があり、閉会しました。

東区駐輪場安全パトロール

8月28日(火)に千早駅駐輪場と香椎駅駐輪場において、安全パトロールが松尾理事、斉藤理事、萩原事務局長、古賀職員立ち合いで実施されました。東出張所からは広田副委員長、中嶋公共担当および千早駐輪場の宮下リーダー、香椎駐輪場の宮本リーダーが対応しました。



①金銭取扱い・保管状況 ②帳票管理 ③運営日誌の管理 ④利用申請書の管理 ⑤引き継ぎ簿の利用状況 について確認されましたが、今回は特に問題となることはありませんでした。

東区花火大会の清掃ボランティア

9月1日開催の東区花火大会は7,700発と大がかりなもので、会場の御島崎海岸は10万人の歓声と大音響にため息が聞かれました。



翌日午前8時から清掃ボランティアによる会場周辺の清掃活動が始まり、東出張所の会員約40名(総勢約500名)が参加し、海岸一帯は綺麗なこいの場に戻りました。



地域懇談会

9月25日(火)13時30分より、多々良地区の懇談会が多々良公民館において開催されました。



石崎委員長から公益社団法人化および安全適正就業のすすめ、東出張所の活動状況、就業開拓状況等の説明があり、広田副委員長からは事故発生状況と安全・健康についての説明がありました。その後は懇談に入り、趣味やボランティア活動、歴史散歩などに話が弾みました。

11月は、名島A・名島B・馬出地域で開催されますので、多数の出席をお願いします。

東区交通安全の集い



「秋の交通安全運動」の一環として、東警察署主催の『東区交通安全の集い』が9月25日福岡工業大学 FIT ホールで開かれ、安全協会、シルバー会員、老人会など大勢の参加者が熱心に受講しました。東区交通安全協会会長、東区長、東署長の挨拶や交通安全への取り組み決意が述べられ、NPO法人はあとスペース代表山本美也子氏による「Stop 飲酒運転」と題しての講演があり、23年2月長男を飲酒運転事故で亡くされた話を中心に飲酒運転事故の悲惨さと飲酒運転撲滅を訴えられた姿に共感の拍手がありました。その後、県警音楽隊の演奏や抽選会なども行われました。

広報委員 安武 和芳

博多

区

はかたく

区役員会開催



8月20日（月）14時より1階会議室において開催されました。

今回の議題は、1. 区運営検討委員会の報告 2. 博多出張所の現況報告 3. 安全促進大会の報告 4. 親睦旅行（バスハイク）などが提案されました。

先ず坂井委員長代行より、倉岡委員長が9月1日から復帰される目途となりましたので、委員長代行を8月末で退任する旨の挨拶がありました。続いて、配布された資料をもとに、4～7月までの業種別配分金・就業率・予算執行状況について前田副委員長から説明がありました。就業会員の配分金ベスト5を紹介すると、①駐輪場管理26% ②屋内清掃作業17% ③街頭指導・撤去・保管所業務13% ④その他の施設管理10% ⑤一般事務6%となっています。

親睦旅行については、今年度もバスハイクを実施することになり、旅行運営委員5名を区運営検討委員会で選任し役員会で決定しました。日程は10月14日（日）と15日（月）の2回、場所は山口県湯田温泉に決定しました。

博多1・2地域懇談会の開催

9月8日（土）午前10時より大浜公民館で会員21名が出席して開催されました。

先ず、倉岡委員長から挨拶と出張所の現況についての説明があり、要旨は次の通りです。

「6月に委員長に就任しましたが諸般の事情で3カ月ほどお休みをいただき、9月から委員



長の仕事ができるようになりました。その間、役員・会員の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしましたことを申し訳なく思っています。これから頑張りますので、よろしくお願いします。

委員長としての運営方針については、シルバーだより8月号に掲載していますが、これについて少しお話ししたいと思います。

1. 現在の博多出張所の運営に関しては、大きな問題もなくスムーズに行われており、今後も坂井前委員長が敷かれたレールに沿って運営していきたいと思っています。それを根本的な運営方針の大きな柱としています。
2. いま一番の問題は、就業開拓だと思っています。当出張所は他の出張所と比べて、公共に依存するウエイトが高くなっています。公共は不安定な要素を含んでいますので、民間の就業開拓を推進して安定的な事業にしたいと思っています。

次の問題点は、仕事はあるけど就業する人が見つからないことです。例えば、駐輪場や街頭指導は希望者が少ない現状にあります。また一方では、仕事をしたいが希望する業種が見つからないなどの問題もあります。このため、出張所では情報公開の一環として、『仕事をお探しの方へ』をシルバーだよりと一緒に配付しています。また、センターのホームページでもご覧になれます。毎月、事務室の前の掲示板にも貼っていますので、活用していただきたいと思っています。

3. 会員の皆様と出張所との繋がりが希薄になっていないかということです。出張所の情報をお伝えしたり、意見や要望を伺うためにも事務所に立ち寄ったり、地域懇談会や親睦旅行に参加していただいて、繋がりを深めたいと考えています。

最後になりましたが、6月に配付されました

『シルバー手帳』には、センターのことが詳しく記載してありますので、よく読んでいただき有効に活用していただくようお願いします。』

続いて、博多出張所配分金および博多1・2地域会員の就業状況について、前田副委員長から説明がありました。博多1・2地域の就業率は、出張所平均より高く男性63.3% 女性53.3%となっています。安全適正就業については、既に事故が5件発生しており、なお一層の注意が必要との説明がありました。

質疑時間には、会員から種々意見や要望がありました。それぞれにご理解をいただいて会議は終了しました。

『まつりはかた』街頭キャンペーン

10月はシルバー人材センターの普及啓発促進月間です。この期間中の10月28日(日)に『まつりはかた2012』が博多区中比恵公園で開催されます。博多出張所は、これに参加してチラシやパンフレットを配布し、PRなどの街頭キャンペーンを行います。また、会員の作った物品販売コーナーも予定しています。会員の参加・来場をお待ちしています。

『女性会員の集い』開催の予定

11月23日(勤労感謝の日)午前9時30分より長生園講堂において開催することになっています。内容は、講話・芸能(踊りやカラオケ)などを予定しています。

昨年たくさんの女性会員に参加していただきました。今年は、お昼頃に終了しますので、お気軽に参加していただくようご案内します。

広報委員 松井 洋治

中央

区

ちゅうおうく

役員会開催

8月24日(金)午前10時から、出張所会議室で役員会が開催されました。



1. 岩男委員長の挨拶に続き、24年4～7月配分金実績報告が資料により次のように説明されました。「対前年比では約16%の減少です。その主な原因は、適正就業に伴う就業先からの撤退と除草作業分野で退会者が出たためによるものです」。

2. 安全就業について

首藤安全担当から、4～7月までの事故発生状況について資料により次のように報告されました。「全出張所で19件と前年比4件減少に対し、中央出張所では事故3件と前年比2件の増加です。各人の健康管理とマニュアルを遵守し、安全確認を今一度徹底する様お願いします」。

3. 地域懇談会の計画について

岩男委員長から今年度は各校区を4ブロックに分け、福岡市民福祉プラザ『ふくふくプラザ』で開催する予定が発表されました。

月 日	校区名	地区計	会員数
9月20日(木)	小笹Ⅰ・草ヶ江Ⅱ・笹丘Ⅱ・福浜Ⅰ	4	197
10月11日(木)	警固Ⅰ・箕子・当仁Ⅱ・福浜Ⅱ・南当仁Ⅰ・赤坂	6	207
11月8日(木)	小笹Ⅱ・警固Ⅱ・大名・春吉・舞鶴・南当仁Ⅱ	6	196
12月5日(水)	平尾・薬院・草ヶ江Ⅰ・高宮・笹丘Ⅰ・当仁Ⅰ	6	199

4. その他

- 宮崎家事援助担当の後任に白川会員が役員会での承認により決定しました。
- 適正就業において、指揮命令が発生する可能性がある仕事は派遣に切り替えざるを得ない状況下にあると説明がありました。
- 親睦旅行について委員男女4名で準備に入っており、詳細は10月役員会で発表の予定です。
- 24年度互助会の予算について、荒木代表幹事から資料により報告がありました。

広報委員 井手上 勉

南

区

みなみく

第3回安全・適正就業対策会議開催

— 自分の安全は自分で守る —



8月24日(金)13時30分より南出張所会議室において、矢口委員長、江口・實藤両副委員長、職群班長・会員各1名ずつの計16名が参加して、標記の会議が開催されました。

初めに、矢口委員長より「皆さんの指導で安全に対する意識の高揚が見られます。しかし、残念ながら2～3か月の間に事故が2件起きました。刈払除草と自動車事故です。尚一層の指導の徹底をお願いします」と、挨拶がありました。

続いて、江口副委員長(安全担当)から本日の議題である①「事故発生状況報告」②「安全・適正就業への取り組み」の二点について、詳細な説明がありました。要約しますと下記の通りです。

①「事故発生状況報告」

全市の24年7月末の事故件数は19件で、前年比4件の減少でした。その内、南出張所は3件で前年比1件の減少でした。事故内容別にみると、傷害事故1件(前年比±0)賠償事故1件(前年比±0)自動車事故1件(前年比-1)です。ところが、8月の速報によると8月3日に1件の賠償事故が発生しました。

②「安全・適正就業への取り組み」

事前のリストに沿った安全チェックをすること。刈払機による作業中は5m以内に他の作業員が入らない、また発見したら作業を中止すること。ミーティング等を通じ、“小さなことからコツコツと”の積み重ねが大切です。事故は

加害者、被害者ともに精神的、肉体的、或いは経済的にも負担であり、苦痛を伴いますのでくれぐれもご注意ください。

その他、熱中症予防と落雷について、適正就業について、会員の特技を生かし新規の就業開拓を目指したい意向について説明がありました。

長時間に亘る会議でしたが、最後まで熱心に討議されました。

広報委員 高濱 一郎

城南

区

じょうなんく

「シルバークフェスティバル2012」 に向けて作品作りが本格化！



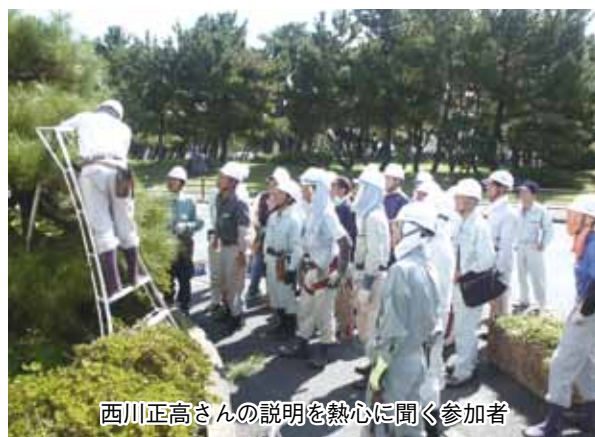
作品作りに精を出す「まんさくの会」の会員

シルバー人材センターの普及啓発の一環として恒例になっている「シルバークフェスティバル2012」が10月27日（土）と28日（日）の両日、早良区百道浜のRKB放送会館前広場で開催されます。城南出張所の手芸グループ「まんさくの会」（会員数17名）は、昨年も同会場に設けられたシルバークギャラリーに手づくり作品を展示販売しましたが、今年も出品のための作品作りを本格化させました。

9月5日（水）の午後、出張所の会議室に集まった15名の会員は樋口・桑野両理事の激励を受けた後、手分けして手提げやポット入れ・タワシ・ティッシュカバー、和装帯をリサイクルしたクッション、着物の生地を仕立て直したストールなどの作品作りに取り組んでいました。

同会の村上エミ子会長は「昨年は90点ほど出品しました。今年は120点くらい出品する予定です。作品は1点数十円から何千円のものまでバラエティーに富んでいます。いずれも会員が心を込めて作りますので是非、会場に足を運び、手に取ってみてください」と呼びかけています。

剪定講習会（グリーンスクール） に城南区から7名が参加



西川正高さんの説明を熱心に聞く参加者

剪定の初級会員及び剪定就業を希望する会員を対象とした第2回剪定講習会（グリーンスクール）が9月7日（金）、福岡県緑化センターのグリーンドクター西川正高さんを講師に迎えて、西区小戸の福岡市立ヨットハーバーで開かれました。

この日、参加したのは福岡市7区から集まった剪定の初級者21名（城南区から7名が参加）。気温30度を超える厳しい暑さの中、参加者は3班に分かれ、午前9時30分から昼食を挟んで午後3時まで、分からない点は西川講師や西区剪定班のリーダーに尋ねるなどして、同ヨットハーバー玄関前のツツジの植え込みやマツの剪定に汗を流していました。

城南区から参加した小谷満昭会員は「実技講習を受けるのは初めてでしたが、親切な指導のお陰で楽しい一日となりました。講習を一回受けたくらいで直ぐモノになるとは考えていませんが、体力の続く限りがんばろうと意を新たにしました」と、意気込みを話してくれました。

広報委員 藤 勇三

早良

区

さわらく

「安全・適正就業促進大会」開催



7月20日（金）の午後、早良市民センターで「平成24年度安全・適正就業促進大会」が五島委員長・斉藤理事・井上理事・桑野理事ほか会員90名が参加して、加藤安全担当の司会進行で開催されました。

大会に先立ち、安全標語に入選された女性会員の小林修さんの表彰がありました。作品は、「身を守る 仕事に合った 身だしなみ」です。

大会は、先ず五島委員長から4～6月の出張所事業報告がありました。

次に、井上理事・斉藤理事・桑野理事から次のようなお話がありました。

井上理事：昨年度の事故は前年度に比べて減っています。これは健康診断の受診が増えているのも一因だと思います。皆さんにお願いすることは、①道路を斜めに横断しないこと②外出時には、熱中症を防ぐため「水分」を持って行くことです。

斉藤理事：2つの報告をします。①昨年度上期は市全体で配食サービスの事故が多発しました。配達時の会員相互の連携を強化する等、安全を徹底した結果、事故は減りました。②1,000台以上収容の駐輪場に「AED」を設置しました。早良出張所では西新駐輪場に設置しています。

桑野理事：早良出張所の天野就業開拓員への協力をお願いします。シルバー人材センター宣伝のため、ポスティングのご協力をお願いします。

最後に、加藤安全担当から4～6月の事故状況の報告があり、閉会しました。

講演会開催

～ 高齢者のお口のケア ～



「安全・適正就業促進大会」に続いて、福岡歯科医師会から来られた、加藤卓雄先生の講演がありました。演題は「8020（ハチマルニイマル）運動」を中心とした「高齢者のお口のケア」で、その内容は次の通りです。

日本人の平均寿命は長くなっていますが、歯の寿命はこれに追いついていません。「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」とするのが「8020運動」で、平成元年から始まり24年経っており、その成果は徐々に上がって来ています。高齢になっても、豊かに楽しく過ごすために、いつでも自分の歯で食事をするのが大切なことです。

日本人の平均寿命は長くなっていますが、歯の寿命はこれに追いついていません。「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」とするのが「8020運動」で、平成元年から始まり24年経っており、その成果は徐々に上がって来ています。高齢になっても、豊かに楽しく過ごすために、いつでも自分の歯で食事をするのが大切なことです。

歯の抜ける原因は「むし歯」と「歯周病」です。特に「歯周病」は生活習慣病に位置付けられて、成人の約8割が歯周病になっています。これらを防ぎ、歯が抜けるのを防ぐためには、生まれた時からのお口のケアと良い生活習慣を持つことが大切です。

成人の歯は全部で親知らずを含めて32本ですが、40歳代を境に急速に減り、60歳代では平均して20本にまで減っているのが現状です。

不幸にして歯が抜けた時には入歯があります。きちんと噛むことが出来る入歯があれば、口の状態を良好に保つことで20本あるのと同程度の効果が得られます。入歯を含めた歯で食べ物をしっかり噛むことが出来れば、全身の栄養状態も良好になりますし、良く噛むことで脳が活性化されて認知症のリスクが軽減するようです。

会員にとって身近な問題で熱心に拝聴していました。

地域班長会を開催

8月21日（火）の午後、出張所会議室で地域班長26名が出席して、隠岐副委員長の司会進行により、地域班長会が開催されました。



先ず、五島委員長から次のような話がありました。

1. 今期の概況報告

- ① 4～7月の配分金は前年比96.4%で、市全体の93.4%を3.0%上回っています。前年を下回ったのは宿直業務の廃止と民間の刈払関係の不振によるものです。部門別では剪定が126%と好調に推移しており、また筆耕班も暑中見舞いの受注があり好調でした。市全体でも同様に剪定と筆耕関係が伸びています。
- ② 7月末の会員数は1,115名（男770名・女345名）です。
- ③ 出張所で最重要指標としている就業率は、4～7月で月平均55.6%（男53.6%・女60.5%）となり、市全体の月平均52.8%（男51.2%・女55.3%）をいずれも上回っています。

2. その他

- ① 9月14日（金）に「女性会員の集い」を開催しますので、女性会員は万障繰り合わせて参加願います。
- ② 女性会員の小林修さんが福岡県シルバー連合会の安全標語に福岡市でただ一人入選されました。
- ③ 9月から11月に「地域懇談会」を予定していますので、参加をお願いします。

次に、加藤安全担当から事故の報告がありました。

4～7月の事故件数は市全体で19件（前年比4件減）でした。早良出張所では1件（前年比3件減）でした。

最後に、質疑応答があり散会しました。

広報委員 高橋 勉



区

にしく

駐輪場就業会員の地域サービス

会員手帳の冒頭に、公益社団法人福岡市シル



バー人材センターの【趣旨】が書いてあり、「…自主的に社会参加することによって生きがいを高め、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的とした団体です」とあります。地域社会に貢献するとか、社会参加するとか、気持ちはあっても行動がなかなか伴わないのが現実です。そのような中で駐輪場就業会員が、小学校の登校日は毎朝児童の通学路確保に当たっており、地域の方や学校関係者から大変喜ばれている事を知りました。

姪浜駐輪場は、西区役所近くの「姪浜大通り」に面したガード下にあります。駐輪場前の歩道は、姪浜駅へ急ぐ通勤・通学者が大勢通り、特に横断歩道の信号待ちの時は歩道に人が溢れます。そこで駐輪場利用者と歩道通行人等との接触を回避するための方策として通学路を確保しています。会員は「お早う！」とにっこりして児童に声を掛けます。「お早うございます！」と元気に声を出す子もいれば、中には黙々と歩く子、或いは二人づれでお喋りしながら登校する子など様々です。子どもたちの元気な登校姿を目にした時、駐輪場を整理するだけではない、地域社会に溶け込んだ駐輪場管理業務であることを実感しました。

就業開拓担当者奮闘記

今年4月から、西出張所就業開拓担当になられた瀧川会員の奮闘ぶりを追ってみました。

今年度理事に就任された桑野理事から、24年度の就業開拓業務方針を聞き、併せて西出張所の具体的計画推進のため、各方面への行動を開始しておられます。「シルバー人材センター」の存在意義と認識を地域の方々に求めるには、先ず公民館や社会福祉協議会へのPR活動が先決と、計画的に訪問されており、或る日、

社会福祉協議会から「〇月〇日に他県などから福岡市に転入された親子の集い“ウェルカムパーティ”があります。説明をされるなら時間を取りますが」とのお話があり、早速家事援助担当と出席し、「子育て支援」でお話をさせて頂いたと聞いております。また或る日は、「民生委員の集まりがあります」との情報で、挨拶かたがた出席しておられました。

西出張所の地域には大きな企業が少ないので、ターゲットは「除草、剪定の他は家事援助・子育て支援関係」でしたが、今年の就業開拓事業計画の一つに「JA 関連の開拓」が加わってきました。そのことで桑野理事が「福岡市農業協同組合本部」を訪問され、そこで西区の「(株)JA ファーム福岡」の紹介を受けました。

早速 JA ファームを訪問したところ、「西南学院が所有するグリーンフィールドに、農薬を一切使用しない条件の田んぼがあり、除草の仕事があるかもしれません」と紹介をいただいたのです。現場を一度調査の上、西南学院大学財務部施設課を訪問しました。大学では学校教育の一環で、「自然学習」の取り組みもされているのです。大学が農地取得に際し、環境保護で無農薬栽培による稲作(約 200 坪)が条件だっ

たとのことでした。西南学院より早く除草の「申込書」をいただき、基幹事務による就業会員の手配、作業開始の運びになりました。



除草作業中の会員

丁度暑い最中の作業で、しかも稲に良く似た、丈の高い草が、田んぼ一面に生えているのです。会員は熱中症に気を配りながら、途中で作業会員を交代しながら、作業を終える事ができました。JA からの情報による就業第一号で、瀧川担当は委員長共々暑い中を幾度か現地を訪問されておりました。

関係が出来た JA ファームからは、早速別の情報を入手されたようです。行動が実を結ぶことで、今後の活躍が益々期待される瀧川担当です。

広報委員 岡崎 幸雄

西区

にしく



拾六町病院



西区の十郎川に面した所に「ご家族が、安心できる病院」を目指し、超高齢化社会での医療に取り組まれている「慢性長期医療療養型病院」の拾六町病院があります。

以前は西区姪浜で開業されていましたが、

昭和 42 年に現在の地に病院を建設されました。院長先生が姪浜で開業されていた頃は、現病院の周辺には病院がなかった為、よく往診にみえていたそうです。

病院建設当時、周辺は田園が広がり、自然豊かな地域だったようですが、今ではマンモ

ス住宅団地があり、地下鉄開業以降は副都心化が進んでいる地区として発展している地域です。

事務長である奥様は、先日まで NHK で放映されていた朝ドラ「梅ちゃん先生」と重ね合わせ、姪浜での開業当時の医療の苦労話をされていました。

当センターからは、病院敷地内の清掃に 2 名、院内清掃に 2 名、それに院長宅の清掃に 1 名がお世話になっております。

当センターとのお付き合いは古く、その上シルバー人材センターへのご理解が深いことに感謝しきりです。

広報委員 岡崎 幸雄

就業先情報

あなたの資格・特技を教えてください

センターでは、会員の皆様から入会後に取得した資格や特技等の情報をお寄せいただき、ボランティア活動やセンターが主催する研修講師の登用など資格や特技をお持ちの方がセンターの活動に積極的に参加していただくことで、センターの活性化を図ることを検討しております。

もし、入会後に資格を取得した方、入会申込時に特技を書かなかった方がいらっしゃいましたら、下記の届出用紙に必要事項をご記入の上、ご所属の出張所にご提出くださいますようお願い申し上げます。

【資格の届出例】・賞状書士の資格を取った

- ・野菜ソムリエの資格を取った
- ・TOEICで600点を取った など

【特技の届出例】・料理教室の講師をしていて魚料理が得意

- ・パソコンを使ってポスターの作成ができる
- ・福岡県美術展覧会（県展）で入賞した など

----- キ リ ト リ 線 -----

資格・特技届出書（24年10月）

住 所			
氏 名			
電 話 番 号		会 員 番 号	
入会後に取得した資格をご記入ください。			
取得日		資格名	
入会時に記載しなかった特技があればご記入ください。			
特技名		詳細	
(記入例) 料理		(記入例) 以前、料理教室の講師をしていて魚料理が得意。	

平成24年度会議開催状況 (8月～9月)

●理事会

回	開催月日	議案
6	8月22日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会について
7	9月26日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
5	8月16日(木)	・未収金対策について
6	9月19日(水)	・未収金対策について

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
5	8月17日(金)	・普及啓発促進月間の取り組みについて ・業務部会の取り組み状況について
6	9月21日(金)	・シルバーフェスティバル2012について ・業務部会の取り組み状況について

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
4	8月22日(水)	・平成24年度第5回「総務部会」及び第5回「業務部会」の報告 ・平成24年度7月「事業実績」について
5	9月26日(水)	・平成24年度第6回「総務部会」及び第6回「業務部会」の報告 ・平成24年度8月「事業実績」について ・理事視察研修について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
4	8月22日(水)	・事故状況について ・審議事項
5	9月26日(水)	・事故状況について ・審議事項

平成24年度 実績報告

平成24年8月末現在 ●会員数 7,088名 ●就業者数 4,432名
 男性 4,693名 ●就業率 62.5%
 女性 2,395名 ●事業収入 8億6,064万円

平成24年度 事故発生状況

平成24年8月末現在 ●傷害事故 13件 (前年同期 9件 前年比 +4件)
 ●賠償事故 10件 (前年同期 9件 前年比 +1件)
 ●自動車事故 4件 (前年同期 9件 前年比 -5件)
 ●累計 27件 (前年同期27件 前年比 ±0件)

■傷害事故 (7月1日～8月31日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	傷害の程度		
								入院	通院	手術
7/22	就業中	女	69	屋内作業	引っ越し作業の手伝いで就業、就業先で飼っていた犬のノミによる赤い湿疹を発症する。	首回り	湿疹		○	
8/1	就業中	男	68	刈払	急斜面で刈払機による除草作業中に、刈払機のキックバック（地面を削り反動が起きる）が発生し、近くで小枝を切っていた会員の足を傷付ける。	足首	切り傷		○	
8/8	就業中	男	66	屋外作業	自転車で情報誌の配布作業中、ペダルに足を掛け踏み出そうとしたところ、足が滑り転倒した際、左肩鎖骨を骨折する。	左肩 鎖骨	骨折	○		

■損害賠償事故 (7月1日～8月31日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
6/14	男	68	剪定	剪定作業で車庫の屋根（ポリカ）に切屑が散乱し、片付ける時に、屋根に傷を付ける。8月末に発注者より連絡が入り判明。
7/24	男	65	屋外作業	30台以上の展示車両の屋根に、洗車作業中の不具合により発生したと思われる凹みが発生した。
7/26	男	64	剪定	脚立に上ったの剪定作業中、重心がズレて横にあった台湾製の石テーブルに圧力が掛かり、テーブルと椅子を破損した。
8/3	男	76	刈払	駐車場で刈払機による作業中、飛石が発生して駐車中の車両右後部窓ガラスを破損した。
8/24	男	78	屋外清掃	駐車場奥にある鍵置場へ鍵を取りに行く際、通路が狭く誤って駐車中の車に傷を付ける。
8/25	男	75	施設管理	自分の車で、バックにて移動中、水飲み場に気付かず蛇口を破損する。

■自動車事故 (7月1日～8月31日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
7/5	男	72	刈払	河川敷で刈払作業後の集草作業中、トラックのバンパーに縁石で傷を付ける。
8/9	男	68	事務所	現場パトロールからの帰所途中、脇道より一旦停止後に県道へ右折する際、左方車を見落とし、相手車後部と当方の前部左バンパーが接触する。
8/13	男	65	事務所	駐車場への車庫入れで、左前方不注意の為、電話ケーブル管と車両左前方向指示器が接触した。

西光寺の梵鐘と福岡市の国宝



【西光寺】

国宝の梵鐘がある西光寺は福岡市早良区内野にあります。西新から国道263号線(早良街道)を走る西鉄バス3番「陽光台」行きに乗り、「内野」で下車して徒歩5分程で着きます。

西光寺は浄土真宗本願寺派の寺院で山号は孤峯山と称して、文明元年(1469年)に天海和尚が創建した寺です。本堂の左手の少し高いところに鐘楼があります。厳重に針金入りのガラスで囲んだ中に、国宝の梵鐘があります。普段は中に入れませんが、毎月1日と15日には自由に参観出来るとのことです。

この梵鐘は、各地を転々とした数奇の鐘です。年代の刻まれた鐘としては日本で4番目に古いとのことで、昭和29年に国宝に指定されました。この梵鐘は承和6年(839年)に、伯耆国鴨部郷、現在の鳥取県西伯郡西伯町鴨部周辺にあった金石寺の鐘として鑄造されました。その後、永正7年(1510年)には、尼子氏の家臣であった山中鹿之助幸盛によって陣鐘として使われました。又、この鐘は出雲大社にあったという説もあります。出雲を離れた鐘は明治22年松江市の金物店から大阪商人大沢庄兵衛に転売されました。そして縁あって明治30年(1897年)にここ西光寺に収まることになったそうです。太平洋戦争時、地金として供出されそうになりましたが、危うく難を逃れました。各地を転々とした数奇の鐘です。

この梵鐘は高さ136.4cm・直径77.5cmで、一目見て美しく風格があります。以前は朝夕6時

に鐘を突いて時刻を知らせていましたが、現在は止めています。

【福岡市の国宝】

国宝は、現在全国に1,083件ありますが、多くは京都・奈良・東京にあります。

福岡市には、西光寺の梵鐘を含めて次の5件の国宝があり、その内4件が早良区内にあります。

- ① 西光寺の梵鐘
- ② 金印「漢倭奴国王」…(福岡市博物館に常時展示)
- ③ 刀「名物 へし切 長谷部」…(福岡市博物館所蔵) 刀工長谷部国重作。織田信長が無礼を働いた茶坊主を手打ちにしようとした際、これを逃れようと棚の下に潜り込んだために信長がこの刀を棚の下に差し入れてそのまま押し切りにしたと伝えられる。本来刀は振ることで切れるもので、当てて押すだけでは切れないものだが、信長はさして力を入れず胴を真っ二つにしたと言われる名刀。(旧黒田家家宝)
- ④ 太刀「名物 日光一文字」…(福岡市博物館所蔵) 天正18年(1590年)の豊臣秀吉による小田原攻めの際、和睦交渉の仲立ちを果たした黒田如水に返礼として北条氏から贈られたと伝えられるもので鎌倉時代の最高傑作。(旧黒田家家宝)
- ⑤ 誓願寺孟蘭盆縁起…(九州国立博物館に保管) 臨濟宗の始祖栄西が、治承2年(1178年)誓願寺(福岡市西区今津)で孟蘭盆会(供養行事)の由来と趣旨を自筆で記したもの。

「へし切 長谷部」は来年1月5日から2月3日まで、又「日光一文字」は来年2月5日から3月3日まで福岡市博物館に展示されますので、この機会にご覧になったら如何でしょうか。

ボウリング大会報告

開催日 8月23日(木曜日)

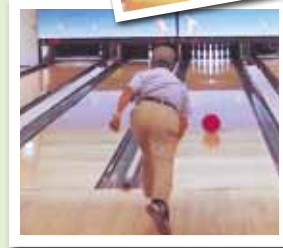
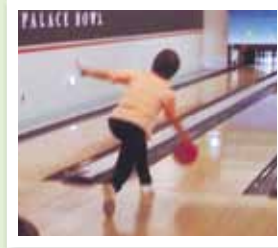
開催場所 西新パレス

参加人員 32名

成績 優勝 児玉隆一(城南)369(2ゲーム)

準優勝 渡邊圭明(早良)339(2ゲーム)

3位 橋本 正(南)319(2ゲーム)



暑い中の参加お疲れ様でした。2ゲーム、約1時間の熱戦でしたが、和やかな雰囲気の中、怪我・トラブルもなく無事に終えることができました。ありがとうございました。

ただ、年々参加者が減っているのが気に掛かります。平成22年54名、平成23年41名、平成24年32名という実績です。

ボウリング愛好家の方々、若い頃はよく投げていたという方々、是非奮ってご参加ください。

東区互助会業務委員 小杉 眞雄

参加者募集

多くの会員と親睦を深めるチャンスです。
参加をお待ちしています!!

第2回 料理講習会

食を通じて親睦を図りましょう

開催日 11月22日(木曜日)
10:00~15:00

場所 ふくふくプラザ

人数 35人(先着順)

持参する物 エプロン、三角巾、お手拭

会費 400円

募集締切 11月5日(月曜日)

芸能大会

舞台上で特技を披露してください

開催日 平成25年1月11日(金曜日)

開催場所 ふくふくプラザ

会費 1,000円(出演者のみ)

募集締切 12月5日(水曜日)

※ご自身出番のDVDを希望される方は別途1,000円で受付け致します。



申込方法

会員番号・氏名・住所・年齢・性別・電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAXにて各出張所の互助会業務委員宛にお申し込みください。なお、電話でのお申し込みはお受けできません。

第1回
互助会主催

料理講習会報告



石崎会長から「今日の献立の中、一品でも家庭のレシピに加われれば幸いです」とのご挨拶で始まりました。

「食を通じて親睦を図りましょう」を掲げ、第1回互助会主催料理講習会を開催することができました。爽やかな気候のもと、ゆったりとした会場で和気藹々と男性会員も参加され、レシピを見ながら夫々の技量で料理し食することができました。食は「医食同源」と言われ、特にシルバーにとって健康維持増進に不可欠です。今後も継続することで、一層の親睦が深まることを期待したい思いです。会員のより多くの参加をお待ちしています。

代表幹事 荒木博子



メニュー

- 鶏肉のグレープジュース煮
- ビシソワーズ
(じゃがいものクリームスープ)
- 豆腐のサラダ
- オクラととろろご飯
- 黒糖かん

レシピ

鶏肉の グレープジュース煮

材料

- 鶏むね肉 400g
- 小麦粉 大4
- 塩 小1/4
- タイム 小1/4
- ベーコン(薄切り) 2枚
- ねぎ 1本
- 赤ワイン 1/2カップ
- ローリエ 1枚
- グレープジュース(果汁100%) 1/2カップ
- パセリ(みじん切り) 大2
- 黒こしょう 少々

作り方

- 1 鶏肉は1cmの1口大の削ぎ切りにする。①の材料を合わせて、ビニール袋に入れ、鶏肉を入れまぶす。
- 2 ベーコンは粗みじん切り、ねぎはみじん切りにする。
- 3 フライパンにバター大1を溶かし、ベーコン、ねぎの順にゆっくり炒め、いったん取り出す。
- 4 3のフライパンにバター、サラダ油各大1を足して、鶏肉を色よく焼いて取り出す。
- 5 フライパンの余分な油を捨て、ベーコン、ねぎを戻し、醤油大2を加えて汁けをとばすように煮詰める。赤ワイン、ローリエ、水1/2カップ、グレープジュースを入れる。
- 6 沸騰したらパセリを加え、鶏肉を入れて、5~7分間煮る。クシが容易に通るくらいになったら、醤油小1強、塩少々、黒こしょうで味を調え、水で溶かした片栗粉少々でとろみをつける。
- 7 器に盛り、好みでパセリをふる。

会員のひろば

野芥駅駐輪場の亀川会員がガンバっています



当駐輪場に就業しています亀川耕二会員（61歳）が、今年の夏に開催された「第22回阿蘇カルデラスーパーマラソン」の100キロにエントリーして、野芥駅駐輪場の仲間から贈られたユニフォームを着て健闘しました。

亀川会員は3年前に肺がんの手術を受けた

にもかわらず、去年も50キロにエントリーして完走しています。年に数回のマラソン参加が楽しみとのことで、今年は10月の韓国・春川と12月の宮崎の大会に出場するようです。

就業中の亀川会員の様子を見ていても、与えられた仕事を軽々とこなし、60歳を過ぎても病気にくじけず、立派に健常者以上に立居振舞っておられる姿には私達も勇気づけられています。

このような方が会員として当駐輪場で頑張っていることを、シルバー世代の皆さんに知って頂きたいお知らせします。

野芥駅駐輪場リーダー 西島 健二

城南山歩（さんぽ）の会 サークル活動報告

会長 加藤 康禮

〔城南山歩会8周年を迎え大飛躍する〕

平成16年に山登りのサークルを結成し、月に2回福岡近郊の山歩きを楽しん



でいましたが、年2回春と秋に九重の山、山にチャレンジしたいとの希望があり、6月に山肌がピンク色に染まるミヤマキリシマ開花の時に1泊2日で山登りをしました。2日目は九州で一番人気のあるはげの湯温泉（くぬぎ湯）で蒸し釜料理と湧蓋山（わいたやま）を眺めながら温泉に入り楽しい2日間を堪能しました。

8月には恒例のバーベキュー大会を油山市民の森キャンプ場で開催し、森の新鮮な場所でバーベキュー料理を楽しみながら大盛況のうちに終わりました。

市民の森キャンプ場は標高300m程ですがバスの便もあり参加し易い所です。来年は是非参加し、楽しい仲間の一員になってみませんか。

城南山歩の会は会員20名を超し、8年間の実績から四季折々の定番のコース



もでき、一年間を健康で嬉しく、楽しい、有難うの生活をすすめています。

イベント…【春】舞鶴公園での花見会、ハイキングコースなど【夏】福岡近郊の島々の散歩、油山のバーベキューなど【秋】篠栗ウォーキング、地島ウォーキングほか【冬】福吉ウォーキング、筑後川ウォーキングほか

山登り…宝満山、宮地嶽山、天拝山、遠見岳、目配山、三日月山、背振山、油山、十坊山、叶岳、飯盛山、井原山、在自山、等 ◎平成24年より九重山に春と秋2回山登りを実施します。

山登りに自信のない方も自分に合わせたコースに参加できます。**城南山歩の会に入会し、健康で楽しい生活をしてみませんか。**

申し込み方法 はがき、FAXでお願いします。〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目22-22 福岡市シルバー人材センター城南出張所 互助会担当 神園 FAX 731-7731

記入要領 1) 会員番号 2) 氏名 3) 住所 4) 電話 5) 年齢 を必ず記入して下さい。

※ 会則については、後日連絡致します。

博多盆仁和加大会で優勝!!

8月26日、第56回博多盆仁和加大会が中央市民センターで開催されました。中央出張所の浜泰浩会員が見事優勝されましたので、その作品をご紹介します。妻と息子の三人で太陽光発電の会社を立ち上げたいとの設定。「それだけじゃあやっつけていけんめいもん」と云われ、「三社員（サンシャイン）でやっていく!!!」



中央出張所 井手上 勉

健康講座

第3話

南出張所「安全・適正就業促進大会」の講演
「知っていますか？認知症のこと」を聞いて
南出張所 高濱 一郎

メディアによると85歳以上の3人に1人、65歳以上の10人に1人は、認知症になるといわれます。そこで、誰でもかかりうる病の「認知症」について、私なりに思いを巡らしてみました。

介護者の方からよく尋ねられることは、「前に比べて物忘れが多いのですが…」、「認知症を疑ったら何科に行けばいいのですか?」、「初期の症状はどんな行動ですか」、「認知症になると、脳の中でどんな変化が起きますか」、「認知症の母が要介護認定を拒みどうしたらいいでしょうか」、「96歳の夫を老老介護しています。3年前から認知症、泣きたい日もあります」等々です。いろんな不安と心配を抱えて、介護される様子が伺われてなりません。

介護者は日頃の様子から、「認知症の前兆だった」と感じたことを、5点挙げています。

- ①人や物の名前が出てこない。
- ②置き忘れ、しまい忘れが目立つようになる。
- ③時間や場所の感覚が不確かになる。
- ④薬の管理が出来なくなった。
- ⑤以前はあった興味や関心が失われてきた。

年を重ねると記憶力が低下して、物忘れが出てくるのは当然ですが、認知症の人は記憶の全体を忘れます。「覚えていたことをすべて忘れる」といった状態が6か月以上継続し、日常生活に支障をもたらします。

認知症にならないために、私が日々実践していることは、

①既往症の高血圧、胃腸の病気は、年1回定期健診を受けます。(家庭では塩分や肉類を控え、野菜や果物、青魚を食べる)。

②自分に合ったウォーキングをして、体内に酸素を取り入れ、脳への血流を増す。その日の

体調や天気と相談しながら、一日最低5000歩が目標です。

③図書館・書店・公民館・映画館・講演会などに出かけ、新鮮で貴重な情報を得る。

④脳の活性化のために、新聞のパズル解き。新しい漢字や言葉に出会うとパソコンへ保存、ノートに書きます。

⑤シルバー会員手帳に記されている「喜寿(77歳)は祝うに足らず、傘賀(80歳)いまだ青春」の色紙を眺めながら、青春時代の思い出にひたっています。

いよいよ、厚生労働省は来年度から5年間の計画で新たな認知症対策に取り組みます。在宅で暮らす本人や家族を早い段階から支援し、精神科病院などへの長期入院の回避を目指します。目玉の一つは、看護師や保健師、作業療法士などの専門職からなる「初期集中支援チーム」の増員です。発症が疑われる高齢者宅を訪問し、生活状況を聞き取り、必要に応じて医療機関を紹介します。もう一つの目玉が、症状が悪化した時に往診する「身近型認知症疾患医療センター」を全国300か所程度の設置を予定しています。世界で最も高齢化が進んだ日本では欠かせない政策だと思います。認知症に関することは家庭だけで抱え込まず、地域や社会の力を借りることを惜しんではなりません。

最後になりますが、古里には認知症の母(103歳)を抱えています。親族で連絡を取りながらケア・ハウスを訪問します。優しい言葉づかいと笑顔で対応されるデイケアの生活支援サービスに感謝の念を抱きながら、大切な命があるかぎり、いつまでも生きていて欲しいと祈る毎日です。好きな人生訓の一句を紹介します。

『生かされて 今ある命 有難さ』(松野宗純)

重要なお知らせ

センターと類似した名称を名乗る業者等にご注意ください。

最近、シルバー人材センターと類似した名称を名乗り、作業をする業者がいるとの情報が寄せられています。

センターは、類似した名称を名乗る業者とは一切関係がありません。会員の皆様は、就業の時は必ず会員手帳を携帯し、お客様に求められた場合には会員証の提示ができるようにしておきましょう。



平成24年度 会費の口座振替について

シルバーだより8月号(Vol.125)でお知らせしましたとおり、9月20日に会費の口座振替を実施しましたが、預金残高の不足などで口座振替ができなかった方がいます。

上記の方につきましては、以下の日程で再度口座振替を実施しますので、実施日の前日までに、ご登録の預金口座へ入金をお願いします。

◎**口座振替実施日 平成24年11月20日(火)**

■ 会費の口座振替「未登録」の方へ ■

会費のお支払いがお済みでない方は、お早めに納入ください。

会費を納入する際、口座振替の登録をしている方は、配分金等のお支払い口座から会費を振替で納入することができます。口座振替の登録を行うと金融機関へ出向く必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。

まだ口座振替の登録を済ませていない方は、是非この機会にご登録ください。



感動の夏、ロンドンオリンピックやパラリンピックが終わって、もう2ヵ月が過ぎました。今はその余韻に浸りながら、季節は秋から初冬の道へと静かに歩んでいます。

秋桜(コスモス)・木犀・紅葉など目に見える秋が、次々と周囲を彩っています。

このシルバーだよりを編集していると、春は会員の集い、夏は安全大会、秋から冬にかけては、親睦旅行・女性会員の集いなどの行事が掲載されて1年がとても早く感じられます。

10月以降も各出張所でいろいろな行事が予定されております。元気を出して参加してみませんか。会員の皆さん同士が気兼ねなく話をしながら、深まりゆく秋を楽しんでください。(Y・M)

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org